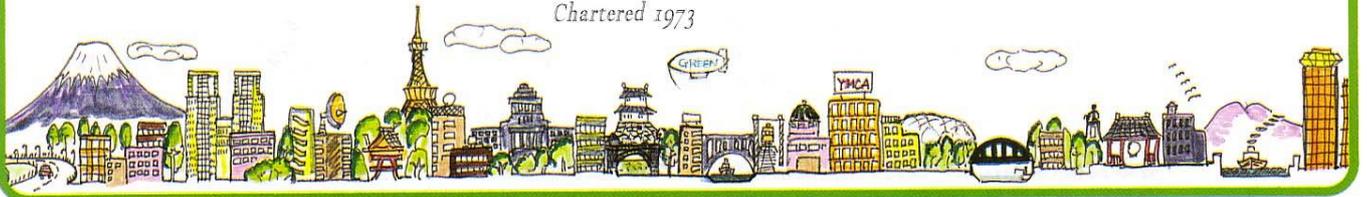




東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.5 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 西澤 紘一
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みずき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

6月 ペンテコステ(教会の誕生)

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると突然剥激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままにほかの国々の言葉で話し出した。(使徒言行録 2章 1-4節)
<イエスの復活から50日目をペンテコステと言う。この日に天から精霊を受けた弟子たちが生まれ変わったように伝道に旅立つ。>

2024年6月ふりかえり例会

日時:2024年6月19日(水) 18:30~20:30
場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター
★進行:西澤メン、 受付:樋口メン、
開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
この一年のふりかえり 各メンバー
「各メンバーの思いをひとこと」
各種報告 樋口 会長
YMCA 報告 柳原 主事
ハッピーバースデー 古平、村杉各メン
閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:15名 5月出席率10/13 77%

出席:4月 (メン10名、メネット0名) 計10名

【ニコニコ】 ¥17,000

「ワイズの仲間に助けられ、生かされた1年」 柿沼 敬喜

昨年の3月21日の「クラブ50周年記念例会」に引き続いて、ホッとする間もなく、5月になり「輪番制で行っている在京ワイズ合同新年会は我がクラブが次はホストクラブの順番」との話が出て、他クラブに迷惑を掛けることにもなるので、引き受けることにしました。

上記の「50周年記念例会」では、故布上君の手配もあつたので、従来の縦割り組織として実施しましたが、全く準備をしていない「新年会」は、計画→発注→下準備(参加者へ)までを横割り組織としてクラブ内で選出した準備委員のメンバーと協議の上、まずはチーム編成を行い、実務は各チームに任せることを提案しました。

また、従来のバイキング形式ではなく、コロナ禍を考慮して、ゲストたちによる銘酒での鏡開きや、温かい甘酒、冷えたビール等をはじめ小袋にした国内の銘産品が調達でき、何とか予算内で抑えられました。今回も、当日は委員以外のクラブの仲間には役割分担をお願いしました。従って、昨年度から今期にかけては盆と正月が一度に来た様な多忙な日々でしたが、ワイズの仲間に助けられ、生かされた1年でした。

◆ (5/15) 2024年5月例会報告

日時：2024年5月15日(水) 18:30~20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、佐野、西澤、西本夫妻、目黒、村杉
柳原、樋口各メン(司会進行：佐野メン、受付：西澤メン)

ゲスト：東京YMCA会員部スタッフ 熊沢 佳代 様



▲ 概要

- ① 開会点鐘、つづいてワイズソング、ワイズの信条、聖句の後、食事会となりました。「大新」お弁当にはエビフライ2本入りシアワセ！
- ② メンバー近況報告(簡単な内容を次ページに掲載しました)
- ③ 各種報告(報告書をお配りし、説明省略)
 - 1) 5月18日(土) 関東東部第3回評議会
出席予定 樋口、西澤、柿沼、柳原各メン
 - 2) 6月1日(土)第27回東日本区大会(十勝)
出席予定 樋口、青木、柿沼、村杉各メン
 - 3) 6月8日神田川船の会催行準備にむけて、
6月5日(水)15:00~17:00和泉橋区民館で直前ミーティングします。
 - 4) 2024/25年度(7月より)第一例会開始時間の前倒しの提案(現状18:30⇒18:00)について、ご意見をお伺いいたします。
・メリット例：早期開始によりラッシュ時間を回避できる、帰宅時間が早まる
・デメリット例：現役の方々の出席が難しい。
 - 5) 6月19日(水)6月例会は、1年のふりかえり例会といたします。卓話者なしです。
 - 6) 7月17日(水)7月キックオフ例会卓話者として東京YMCA幹部をお招きします。
卓題；「今年度の東京YMCAの事業方針
および東京グリーンへの期待」

卓話者：東京YMCA

総務部長 戸坂昇子 様

▲ ハッピーバースデー：左から目黒、青木、柳原各メン



▲ 卓話報告

卓題：「能登半島地震避難所支援報告」

卓話者：東京YMCA会員部 熊沢佳代 様



【卓話骨子】

- ① 東京YMCAは3/31まで輪島市の避難所2か所(町野小学校、東陽中学校)の支援を行ない、以降、同盟、富山YMCAに引き継がれている。
- ② 支援内容：熊本地震、球磨村水害での避難所運営の実績を活かし下記支援を行なった。
・避難所の受付(外部訪問者との対応が多い)
・避難所内清掃手伝い、トイレ清掃
・避難者との対話(これは非常に大切)
- ③ 避難所では、当初段ボール囲いから、パーティション、テントなど生活空間の改善を行った。
- ④ 東陽中学校では当初、地元医院、薬局が開業、料亭シェフによる絶品炊き出しなど、地元の方々による力が大きかった。
- ⑤ (川崎市役所さんご尽力により)全国からの大量の支援物資の仕分けをしているが、ニーズとのミスマッチも見られた。
- ⑥ トイレには、外部のトレーラートイレと室内トイレ(ラップボン)があり毎日2回清掃した。
- ⑦ YMCAスタッフの生活：家庭科教室に寝泊まりしプライバシーは確保された。毎日風呂に入ることができ、有難かった。
- ⑧ 能登の人間はヤワじゃない。みんなで少しずつ前を見ていけるようになっていく。復元ではなく新しい復興を目指している。

今回の報告会では、TV、新聞などの報道ではわからない現地の状況や、ボランティアの皆さまの大変なご努力がわかりました。また年初からの我々の寄付が役に立っていることがわかりました。

改めて東京YMCAの皆様方に敬意を表します。

(樋口 記)

◆ (5/18) 関東東部第3回評議会 および次期クラブ役員研修会報告



日時:5月18日(土)13:30~17:00

場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

グリーン出席;樋口、西澤、柿沼、柳原各メン

▲主な内容

1. 第3回評議会(出席者:23名)

- ① 24/25年度関東東部役員承認
- ② 茨城クラブ解散承認
- ③ 東京ペイサイドクラブ解散承認
- ④ 次々期部長選出方法の見直しについて

従来 3 グループの輪番で選出してきたが、クラブ数が減少するので、以前行ってきたチャーター一順による輪番制に移行する。

(これにより当クラブは、3年後27/28年度関東東部部長を拝命することになります)

2. 次期クラブ役員研修会報告(出席者:21名)

- ① 東日本区、関東東部の役員紹介、行事予定説明
- ② 東日本区24/25年度方針と計画の説明
- ③ 関東東部24/25年度部長方針、活動計画の説明
(詳細は、クラブ役員に配布のワークブックに記載されています。必要な方はメール致しますのでお申し出下さい)

(樋口 記)

◆ (5/25) 在京ワイズ会長会報告

日時:5月25日(土)10:00~11:30

場所:東京 YMCA 山手センター

- 1) 東京 YMCA 総主事菅谷淳様の報告
- 2) 同、会員部運営委員長綿引様の会員活動報告
- 3) 2025 年在京ワイズ合同新年会

日程:1月11日(土)、

場所:東京 YMCA 東陽町センター

ホストクラブ:東京西クラブ

- 4) なお、新年度幹事は金丸満男様(東京ひがし)と、小原史奈子様(東京たんぼぼ)が選出されました。

(樋口 記)

◆ (6/1) 第27回東日本区大会報告



【写真:バナーセレモニー:

右から3番目がグリーン青木副会長】

日時:6月1日(土)13:15~21:00

場所:帯広市とかちプラザ&ホテル日航ノースランド

出席:約330名(うちグリーン;樋口、青木、柿沼、村杉各メン)

▲マーチング、リミックスダンス、バナーセレモニー、開会式のあと、各種報告、表彰、引継ぎ、記念講演などが整然かつ盛大に行われました。晩さん会では心温まるエンタテインメントで、素晴らしい時間を過ごさせていただきました。

★十勝クラブさん、ご支援クラブさんの団結力とこまやかな気配り力に只々感服!!ありがとうございました!

▲当クラブの主な表彰(敬称略)

- 1) 理事表彰「ゴールデンメンバー」 古平光市
- 2) 会員増強「新入会員獲得優秀個人賞」青木方枝
- 3) 国際交流「YES 献金貢献賞(一人当たり)」第1位

▲詳細、出席証写真等は例会時にご報告致します。

(樋口 記)

◆ (6/12) 2024年6月第2例会(役員会)

日時:2024年6月12日(水) 15:00~16:30 Zoom

1. 来年度例会開始時刻の変更(18:30→18:00)

2. 7月例会打合せ、その他 (樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 6月12日(水) 6月第二例会(Z) 15:00~
- 2) 6月14日(金) 田園調布学園校外学習(浅草橋)
- 3) 6月19日(水) 6月例会(東陽町) 18:30~
- 4) 7月10日(水) 7月第二例会(Z) 15:00~
- 5) 7月17日(水) 7月キックオフ例会(東陽町) 18:00
- 6) 7月20日(水) 関東東部評議会(東陽町)
- 7) 8月14日(水) 8月第二例会(Z) 15:00~
- 8) 8月21日(水) 8月納涼例会(時間・場所未定)
- 9) 9月6日(金)~8日(日) YVLF
- 10) 9月11日(水) 9月第二例会(Z) 15:00~
- 11) 9月18日(水) 9月例会(東陽町) 18:00~
- 12) 9月28日(土) チャリティーラン(都立木場公園)
- 13) 10月12日(土) 第90回神田川船の会

「地図と拳」 小川哲(集英社)

168 回直木賞、山田風太郎賞受賞作



23 年度直木賞の大作である。640 頁余の大作で、物語のはじめは、中国東北部の満州国の小さな町からである。当時大学生であった細川は、語学の知識を買われ、ロシアが勢力を拡大しつつあった満州で情報収集に力を入れていた日本

軍の密偵喬木と行動を共にしていた。最初は、細面で眼鏡をかけた青年細川は、その後、南満州鉄道の幹部として、満州の広大な土地に都市計画を夢見る。理想の都市を築き上げること。そのために満州の詳細な地図」作成、そしてそれに伴い生起する現地満州人との戦いに力を注ぐ。つまり暴力たる「拳」がもう 1 つのテーマとなる。義和団の乱、蒋介石率いる国民党軍誰と八路軍(共産党解放軍)と日本軍とが入り乱れて戦う満州の悲惨な歴史が描かれている。

小川哲のこの最新作は、満州を舞台に日中露それぞれ様々なバックボーンをもつものたちが入り乱れ、架空の都市「李家鎮」——のち「仙桃城」を舞台に物語が展開する。日本軍が、抑えていた満州で 50 年のあいだに栄華を極めそして消え去ってしまう「仙桃城」に、思わずため息が出る。歴史的には、義和団事件、孫悟空を模したパルチザンの戦いなど、リアリズムのなかでしかし奇妙な浮遊感をもって、まさにこの作家の器用さを大いに感じるころである。特に序盤において、この時空がどのように広がりを見せるか想像もつかないので、リアリズムのなかの異物が作品世界にどのように化学変化をもたらすのか、強烈にわくわくさせられる。

とはいえ、この『地図と拳』ではやや弱いかな、という気はする。巻末の参考文献からは著者の熱心な取材ぶりがかがえるが、しかしその中にはわたくしすら読んだことのあるポピュラーな書籍がいくつも含まれていて、そのうえその参照箇所がけっこうあからさまだったりするのだ。細川が立ち上げた「戦争構造学研究所」とその内実は、実際のモデルに即して日本が起こした無謀な戦争を批判している。

(西澤 記)

1. 4 月 29 日、「第 24 回高石ともや バングラデシュ奨学基金チャリティーコンサート」(浅草教会)は 115 名が来場し好評であった。

演奏の間には松本数実氏(国際・総合教育事業部 統括)が、東京YMCAが支援しているバングラデシュの子どもたちの様子について映像を用いて報告を行った。益金 15 万円は、バングラデシュYMCAの学校で学ぶ子どもたちの支援に用いられる。

2. 「山中湖センター100 周年募金」は 4 月末で終了し、当初の目標額を上回る 30,339,896 円が寄せられた。

募金により、クライミングウォールの新設、キャビン内のトイレ設置など施設リノベーションが順調に進んでいる。

なお、7 月 6 日～7 日には、山中湖センターで施設のお披露目を予定している。また募金を用いて 8 月 23 日～25 日に、外国にルーツを持つ小中学生を招待して、山中湖センターでサマーキャンプを行う。

3. 5 月 25 日、「第 21 回東京YMCA 会員大会」が山手センターにて開催された。開会礼拝に続き、綿引康司会員部運営委員長の挨拶で第二部を開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2024 年度の会員部運営委員が推挙された。また磯部成文氏が名誉会員に推挙された他、東陽町センターの「下町こどもダイニング」のボランティアの皆さんに「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した 4 名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」の表彰を受けた。第三部では、中里敦氏(芝浦アイランド児童高齢者交流プラザMD)より、輪島市町野町の避難所運営支援について報告があった。第四部では、山中湖センター100 周年の感謝報告に合わせ、レクリエーションやキャンプソングを楽しんだ。会場では能登半島地震支援のための物産販売とオークションも行い、126,910 円が寄せられた。

4. 今後の主な行事予定

- 1) 「早天祈祷会」6 月 3 日(山手センター/オンライン)
奨励:飯島隆輔氏(牧師)
- 2) 講演会「～日本での学びを支援する～ 外国にルーツのある子どもたち」6 月 15 日・7 月 13 日(南センター)
講師:仲山淳子氏(東京YMCAにほんご学院講師)
- 3) 「ウォーターセーフティーデー」6 月 16 日(山手・東陽町) 6 月 30 日(御殿山)
- 4) 「キッズワールドカップ in 韓国」8 月 7～11 日(ソウル YMCA) (クラブ担当主事:柳原 記)